

技術継承へ管網解析など研修

川口市 上下水道局 横浜ウオーターを講師に

川口市上下水道局は10月11日と18日、同局庁舎で水道事業技術研修を実施した。同局では、災害対策や管理の向上のため、市内の水道管網を5



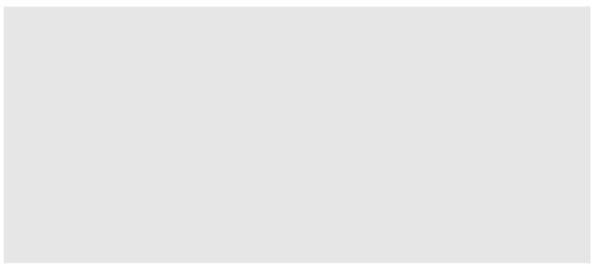
2日間で約30人が参加した水道事業技術研修

つのブロックに分ける配水ブロック化事業などを進めているなか、技術職員の基礎的な知識の底上げと技術の継承を目的として、水理学の基礎から管網解析の活用方法についての研修を行った。講師は横浜ウオーターが務め、2日間合わせて約30人の技術系職員が参加した。

①水理学の基礎②管網解析の基礎③ブロック化について④管網解析の活用方法⑤川口市で発生した濁水の事例紹介⑥管網解析結果の謎解き⑦の6部構成で行った。

このうち、①ではある条件下での流量や流速、口径を求める問題を出題、⑥では管網解析の結果から管路工事時の仮設管の口径を検討する際の管網解析結果の読み取り方など、演習を加えることで参加者の理解を深めた。また、⑤では川口市で実際に発生した濁水事故について、管網解析による原因究明を行い、再発を防ぐための留意点などを説明した。

研修を担当した熊井智彦・同局事業部上水道課



設課課長補佐兼計画係長は「将来にわたって安全・安心な水道水を川口市の皆様へ届けられるよう、

水道技術の継承が行えると考えている」とコメントしている。

また、講師を務めた横浜ウオーターの国本一郎・上下水道部上水道企画担当部長は「全国の事業体においては、ベテラ

ン職員の退職や市長部局との人事異動などにより水道技術者の育成や技術継承に課題を抱えている。そうした中、横浜ウオーターでは、水道技術者研修やオンライン研修のほか、事業体の施策や課題に寄り沿ったオーダーメイド研修を実施し、全国の事業体の課題解決の一助となればと考えている」と話している。